

経営発達支援計画の遂行状況について (R6.4.1～R7.3.31)

1. 認定期日 令和 5 年 3 月 17 日
2. 実施期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日
3. 実施目標 当商工会では、5 年間の本事業期間内において、経営発達支援事業の各目標を達成し、小規模事業者の持続的発展を目指す。
 1. 伴走型による事業計画策定支援により小規模事業者の自立的な経営力強化と持続的発展を図る。
 2. 国内外での需要動向調査・販路開拓支援及び小規模事業者の新たな需要開拓を図る。
 3. 創業・第二創業支援による地域小規模事業者の維持拡大と雇用創出による地域経済の活性化を図る。
 4. 小規模事業者との傾聴を通じて、伴走支援による地域小規模事業者の自走化への動機付けと自己変革力の会得を促す。

4. 事業報告 I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向の調査に関すること

地域の経済活性化を目指すため R E S A S の活用やアンケート調査を行い、地域経済・消費動向等の情報を収集・分析し成果の情報提供を行う。

【目標】 R E S A S で地域の経済動向分析を 1 回、景気動向アンケート調査および分析を 3 ヶ月毎に実施し、得られたデータを HP で情報提供する。

【実績】 R E S A S を活用し地域の経済動向分析データと景気動向調査アンケートを 3 ヶ月毎に実施し得られたデータを当会の HP で公開した。

2. 需要動向調査に関すること

小規模事業者の「新商品開発や改良」や「新たな販路開拓」に繋げるため、需要動向調査を実施し得られた情報からブラッシュアップを行い新たな需要開拓に繋げる。

【目標】 BtoC 向け地域イベント 3 者、BtoB 向け展示会 2 者の商品についてアンケート調査を行い商品の改良・開発ならびに新たな販路開拓支援を行う。

【実績】 かみすフェスタ出店事業者 2 者に対し需要動向調査を実施し事業者のブラッシュアップに繋げた。シェアードシェルフ（県連販路開拓事業）では、1 者が継続取引の成約に繋がった。

3. 経営状況の分析に関すること

外部専門家等との連携や「対話と傾聴」を通じて自社の強み・弱みや財務・非財務分析などの経営分析を行う事で自社の本質的課題を把握し、事業計画策定に繋げる。

【目標】 経営支援システム Shoko Biz を活用し 75 事業者の財務分析を行う。また、専門家等と連携し非財務分析を行い事業者にフィードバックする。

【実績】 経営支援システム Shoko Biz を活用し 75 事業者の財務分析を実施。また、専門家との個別相談を実施するなど財務・非財務分析を行い、会員事業者の事業計画策定に有効活用した。

4. 事業計画策定支援に関すること

事業計画策定の基礎知識を習得するため各種セミナー(創業・事業継続力強化等)を開催すると共に事業者自身が能動的に取り組むための伴走型支援を行い、実現性の高い事業計画策定に繋げる。

【目標】事業計画策定等セミナーを3回行い、35者の事業計画策定を行う。

【実績】専門家等と連携し、事業計画策定(D X、B C P、創業)セミナーを6回、持続化補助金など各種補助金30者の事業計画策定に繋げた。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

フォローアップを計画的に行うと共に経営者自身が現場レベルで自ら取組むための動機づけを行う。また、計画の進捗状況に応じたフォローアップにより潜在力の発揮に繋げる。

【目標】策定した事業計画の実現性を高めるため、事業計画策定 35 事業者に対し 70 回のフォローアップを行い、3 事業者の売上増加を目標とする。

【実績】持続化補助金など各種補助金で事業計画を策定した 48 事業者について 96 回のフォローアップを実施し、9 事業者の売上増に繋げた。

6. 新たな需要開拓に寄与する事業

新たな需要開拓を行うため、国内外で開催する展示会・商談会への出店に係る伴走型支援を行い新たな販路開拓に繋げる。

【目標】①BtoC 向け展示会 1 者(売上目標 10 万円)、②BtoB 向け商談会 2 者(成約 1 件)、③EC サイト登録支援 1 者(売上 3%増)を目標に、新たな需要開拓支援を行う。

【実績】①ニッポン全国物産展 1 者出展(売上約 25 万円)②シェアードシェルフ 2 者出展(成約 1 件)③新規 EC サイト登録 0 者(売上なし)であった。

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

神栖市、外部有識者、神栖市商工会からなる審議委員会を設置し、経営発達支援事業が効果的に遂行出来るよう事業の実施状況・成果の評価・見直し案について検討し、P D C Aサイクルを適切に回す。

【目標】経営発達支援事業審議委員会を 1 回開催し、結果を当会 H P で公開する。

【実績】審議委員会を 4 月に開催し令和 6 年度に実施した経営発達支援事業について協議し、結果を当会 H P に掲載した。

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

職員は中小企業庁などが主催する各種研修会等に参加し、支援能力等資質向上を図り伴走型のきめ細かな指導を実施する。

【目標】中小企業庁や上部団体等が主催する研修会等に全職員が参加する。また、地域の D X 推進のため職員向け D X セミナーの受講と会員事業所の状況と支援ノウハウの共有のため、各種情報のデータベース化を図る。

【実績】支援能力向上のため各種研修会ならびに職員向け D X 関連セミナーに全職員が参加した。また、会員支援ならびに支援ノウハウ共有のため、経営支援システム ShokoBiz を活用し情報のデータベース化に随時取り組んだ。

